

施策 No.	16	施策名	農業の振興
主管課名	農政課	電話番号	0285-83-8136
関係課名	生産調整推進室、農業委員会事務局、プロジェクト推進室		

1. 計画（Plan）

施策の対象	農業従事者						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
農業従事者	人	3,892	3,892	3,892	3,892	3,892	3,892
農家戸数	戸	3,073	3,073	3,073	3,073	3,073	3,073
農地面積	ha	7,930	7,940	7,940	7,940	7,940	7,940

施策の目標	農用地の集積・集約化やスマート農業の導入により、収益性の高い農業生産構造が確立され、農作業の効率化と安定した農業経営が図られています。 また、ICT機器等の導入により、いちご生産農家の栽培技術が向上し、「いちご生産量日本一」のまちとして、全国のいちご生産をリードしています。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	認定農業者数、新規就農者数、担い手農家への農地集積率、市外からの新規就農者数は、農政課データによる。いちご販売額、園芸作物販売額は、JAはが野データによる。対象指標については、農林業センサスデータによる（5年毎）								
成果指標名		単位	平成30年度 基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度 目標値
認定農業者数	目標値	人	557	570	595	620	645	670	670
	実績値			529	526	535	521	535	
新規就農者数（5か年累計）	目標値	人	110	115	120	125	130	135	135
	実績値			80	78	91	126	156	
担い手農家への農地集積率	目標値	%	59.4	63.0	63.5	64.0	64.5	65.0	65.0
	実績値			63.2	65.3	63.2	62.3	66.1	
いちご販売額	目標値	億円	81.1	82.0	84.0	86.0	88.0	90.0	90.0
	実績値			78.6	81.9	86.0	86.8	93.9	
園芸作物販売額	目標値	億円	18.0	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	20.0
	実績値			15.1	14.6	14.2	13.7	15.0	
市外からの新規就農者数（5か年累計）	目標値	人	4	5	5	5	5	5	5
	実績値			6	6	7	14	19	
「いちごのまち」をイメージする市民の割合	目標値	%	51.0	62.0	64.0	66.0	68.0	70.0	70.0
	実績値			56.0	59.1	58.1	59.8	75.3	

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	○市民：地産地消に取り組みます。 生産者と農業団体は、「経営の効率化」、「安全で安心な農産物の安定供給」、「農村の環境整備」等に取り組みます。 ○行政：次代を担う地域の担い手の育成確保に努め、担い手等へ農地の集積・集約化を図るとともに農業経営の安定を促進し、農業・農村の活性化を図ります。
-------------------------	--

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（1）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

○担い手育成・確保

・農業従事者の高齢化や後継者不足、資材等の物価高騰の要因により、離農や経営規模が縮小傾向にあるが、5年更新時の呼びかけや認定農業者になることのメリット（補助事業等）の周知を行った結果、一昨年（令和4年度）の認定農業者数に回復した。しかしながら、認定農業者数は令和2年度から令和6年度までの評価対象の5年間に於いて、見込みが甘く、目標値を上回る年度がなかった。

・新規就農者については、昨年に引き続き、県内外で実施する「新規就農相談会」に参加し、本市農業の魅力を発信するなどPRを図り、昨年と比較し30人増加する新規就農者を確保することができた。結果として評価対象の5年間で令和6年度のみ目標値を上回ることができた。本市への他産業就業後就農者は芳賀管内新規自営就農者数の半数超を占めており、これまでの一定の成果がみられている。

○農地集積

・本市の農地集積率は6割を超えてはいるが、近年伸び悩んでいた。昨年度末に本市においても地域計画を地区ごとに策定したことで、令和6年度は前年度と比較し3.8ポイント上昇し、目標値を超える集積率となった。今後、規模縮小や離農、また後継者不足による農業経営が困難など新たに農地の貸付を希望する者に対する担い手確保と営農における省力化を目指した集積・集約化が課題である。

○園芸作物の振興

・いちご販売額は、生産戸数、生産面積ともに減少傾向にあるが、「とちおとめ」から「とちあいか」への栽培移行が進み、収量増に伴い販売額は増加している。

・いちごを除く園芸作物（メロン、なす、にら、春菊、アスパラガス 外）は生産者、耕作面積、生産量の減少傾向にあるが、物価高騰等の影響により、販売額は増加している。

・いちごのまちのイメージ率については、コロナ感染症が5類に移行され、いちごPR事業がほぼ計画どおり実施できたことから増加につながった。また、市制施行70周年に伴う記念事業等を市として年間通して実施したにより認知度向上につながった。

（2）今後の方向性（（1）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

○担い手育成・確保

新規就農者の増加に向け、県内外の就農相談会へ参加し、真岡市における就農環境についてPR活動を行うとともに、相談会への参加者が秋から冬にかけて多いことから、就農説明会をその時期に集中して開催できないか県に働きかけていく。

また、新規就農者が圃場を確保することが課題となっていることから、意向調査や認定農業者の更新手続きの中で、経営規模の縮小や離農を希望する者など今後の営農を継続しない方などに対し、農地バンクの活用を促し新規で就農を希望する者へ農地の貸し手として協力いただけるよう働きかける。

○農地集積

法の改定により、将来を見据えた各地区の地域農業の姿を、市内を14地区に分割し、それぞれの地域計画を策定した。結果としては目標値を上回る集積率となったが、今後も引き続き担い手の減少や離農者が多くなることが予想されるため、地域座談会を開催し、制度の理解を図っていくなど、継続的に指導・支援（伴走的）していきたいと考えている。また、スマート農業も併せて推進し、将来に向け持続可能な地域農業を確立を目指していく。

○園芸作物の振興

・新たな担い手確保と農地の集積、集約化が経営農地の拡大や経営の安定化につながることから、栃木県やJA等関係機関と連携し、園芸作物の規模拡大や品質向上に向け、施設整備等や露地野菜生産に係る補助制度などの支援を展開していく。

・農業所得・農業従事者の確保、農作業の省力化などの諸課題を解決するため、多収化・高品質化及び技術継承の迅速化に対して効果が期待されるICT機器の他、ドローンや自動操舵システムなどの先端技術を活用したスマート農業機械の導入を支援していく。また、いちご生産日本一としての生産量、販売額を維持していくため、令和7年度についても関係機関と連携し諸問題の解決に尽力する。

・いがしら観光いちご園の閉園時期にも農業による真岡の魅力を発信するため、アグリゾーンにおいて収穫体験圃場を開園している。令和7年度においても、温泉やチャットパレスなどの井頭リゾート内の施設と連携を図るとともに収穫体験圃場のPRを強化し、収穫体験圃場の入場者増につなげていく。

○真岡グリーンツーリズムの実施

・都市と農村の交流を促すためグリーンツーリズムの担い手の確保や推進体制の強化を図るとともに、いがしらリゾート（アグリゾーン）の観光いちご園やいがしらファームへの誘客を促進するなど、農業体験を通して本市の農業の魅力を発信していく。

・農作物の収穫体験などの農業体験と本市観光資源（例：真岡木綿織り体験）とコラボしたツアーを企画するなど、農業を起点とした「体験型ツアー（着地型観光）」の提案を行っている。

○いちごPRを通じたプロモーションの展開

・SNSなどの活用によるいちごPRを実施し、市内外に「いちごのまち」を発信

・その他、いちご王国栃木の首都もおかとしてのいちごに関するプロモーションの実施

○農畜産物販路拡大・6次産業化の支援

・農畜産物の販路拡大及び、生産、加工、流通までを一貫して行う6次産業化へ積極的な支援を行い、本市農産物のブランド力や農家の収益力の向上につなげていく。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和6 年度実績	今後の方向性
1	総重/戦新	いがしらリゾート活性化事業	プロジェクト推進課いがしらリゾート推進係	井頭温泉入館者数	人	215,856	予算増大
				チャットパレス宿泊者数	人	10,873	予算増大
				あぐ里っ娘利用者数	人	126,046	予算増大
				井頭観光いちご園入場者数	人	16,118	予算増大
				井頭公園利用者数（プール含む）	人	769,739	予算増大
2		新規就農者育成確保支援事業	農政課農政係	市内で就農した研修生		1	事業のやり方改善
				新規就農者数		30	事業のやり方改善
				認定農業者に移行した認定新規就農者数		3	事業のやり方改善
3		いちごPR事業	農政課農業振興係	いちごまつり参加人数(推計)	人	15,000	事業のやり方改善
				いちごのまちとイメージする市民割合	%	75.3	事業のやり方改善
				いちごまつり代替事業参加者	人	0	事業のやり方改善
4		いちご生産施設整備等支援事業	農政課農業振興係	支援を受けた農家数	戸	24	事業のやり方改善
				支援を受けた農家の割合	%	5.9	事業のやり方改善
5		園芸作物生産施設整備等支援事業	農政課農業振興係	支援を受けた農家数	戸	3	事業のやり方改善
				支援を受けた農家の割合	%	2.1	事業のやり方改善
6		人・農地問題解決加速化支援事業	農政課農政係	利用権設定件数	件	268	事業のやり方改善
				利用権設定面積	ha	139.4	事業のやり方改善
				地域の中心となる経営体数	経営体	350	事業のやり方改善
7		農業経営対策推進事業	農政課農政係	認定農業者数	経営体	530	現状維持
				地域の中心となる経営体数	経営体	350	現状維持
				家族経営協定締結数	組	235	現状維持
8		配合飼料価格安定支援事業	農政課農業振興係	補助農家戸数	戸	33	現状維持
				補助を受けた畜産農家の全畜産農家に対する割合	%	94.3	現状維持
9		畜産公害対策支援事業	農政課農業振興係	購入組合員数	戸	26	現状維持
				（畜産農家に対する）補助実施率	%	86.7	現状維持
10		優良種豚導入支援事業	農政課農業振興係	補助導入農家数	戸	6	現状維持
				導入率	%	85.7	現状維持
11		真岡グリーンツーリズムの推進	農政課農業振興係	イベント・ツアー等開催回数	回	9	事業のやり方改善
				研修会等実施回数	回	4	事業のやり方改善
				サポーター数	名	21	事業のやり方改善

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

[illegible]